

問い合わせ先
第十一管区海上保安本部
海洋情報調査課長 宗田 幸次
TEL098-867-0118（内線2530）

礁池（イノー）内の強い流れに注意！！

沖縄ではゴールデンウィークを向かえ、マリンレジャー活動が活発になるシーズンが到来します。マリンレジャーは、誰でも気軽に楽しめますが、これまでサーフィンや遊泳中等のマリンレジャーの際に、強い海の流れが原因と考えられる海難事故も起こっています。

この強い流れは、珊瑚礁内で発生するリーフカレント（岸から沖に向かう流れ）と呼ばれているものです。

リーフの切れ目で発生するリーフカレントは、台風や低気圧が沖縄本島に接近し波浪が高い時、潮が満潮から干潮になる時に発生します。また、波浪が高い時には、**礁池（イノー）内に強い流れが発生**します。礁池内の強い流れの一例として、大度海岸では、最大流速3.0km/hの流れを観測しています。（別添「どんなときに強い流れが起きるの？」参照）

（参考）1km/h以上の流れになると、人が流される可能性があります。

第十一管区海上保安本部では、安全なマリンレジャーのために、インターネットのホームページ上で次の情報を提供していますので、海に行く前には是非ご覧ください。

- ・イノーカレンダー（潮の干満を示したカレンダー）
- ・県内数箇所を観測したリーフカレントの詳細
- ・リーフカレントが発生する仕組み

上記情報ページ「沖縄の海洋情報」のアドレス <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN11/>

【どんなときに強い流れが起きるの？】

平成21年7月から11月に沖縄本島の南東に位置する大度海岸にて観測した、礁池内の強い流れの概要は次のとおりです。

「観測海域図」、「礁池（イノー）内の●点で観測された強い流れの一部の図」及びその期間の「台風経路図」を添付「資料」に示します。

観測期間中、台風が沖縄本島の東側を通過している期間、礁内では、強い西向きの流れ（最大で約3.0km/h、10月21日01時10分）を観測しました。

強い西向きの流れ（1km/h以上）を観測したときの気象・海象状況は、次のとおりでした。

- ・ 礁池外の波の高さが非常に高いとき（1m以上）
- ・ 礁池内の海面の高さが、礁池外より高いとき（0.5m以上）
- ・ 礁内の水面が高くなっているとき（●点付近の水深が2m以上）

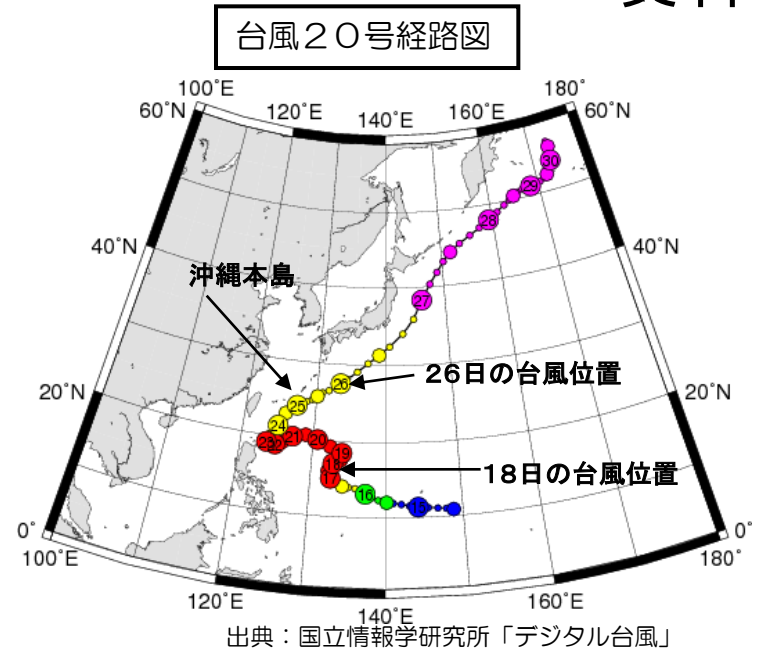
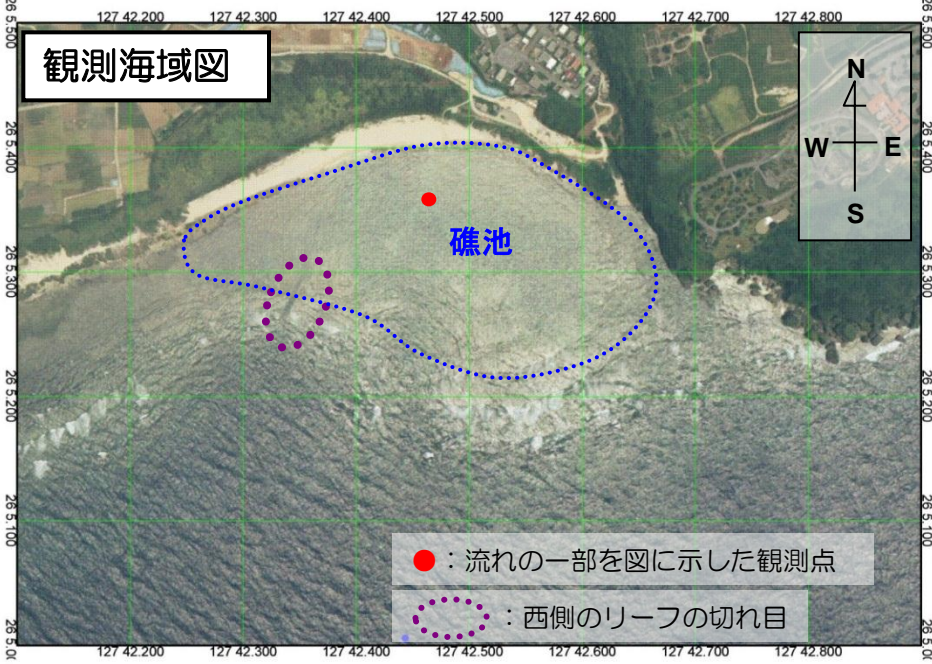
沖縄本島付近での低気圧の発達時や台風の接近時、上記のような状況が発生し、陸岸から沖合いへ向かう流れや、礁池の中に強い西向きの流れが発生することが判りました。

また、海上が平穏なときでも満潮を過ぎ干潮へ向かう下げ潮時、観測海域図  で示す西側のリーフの切れ目では、強い南向きの流れ（流速1.9km/h以上）が発生することが判っています。

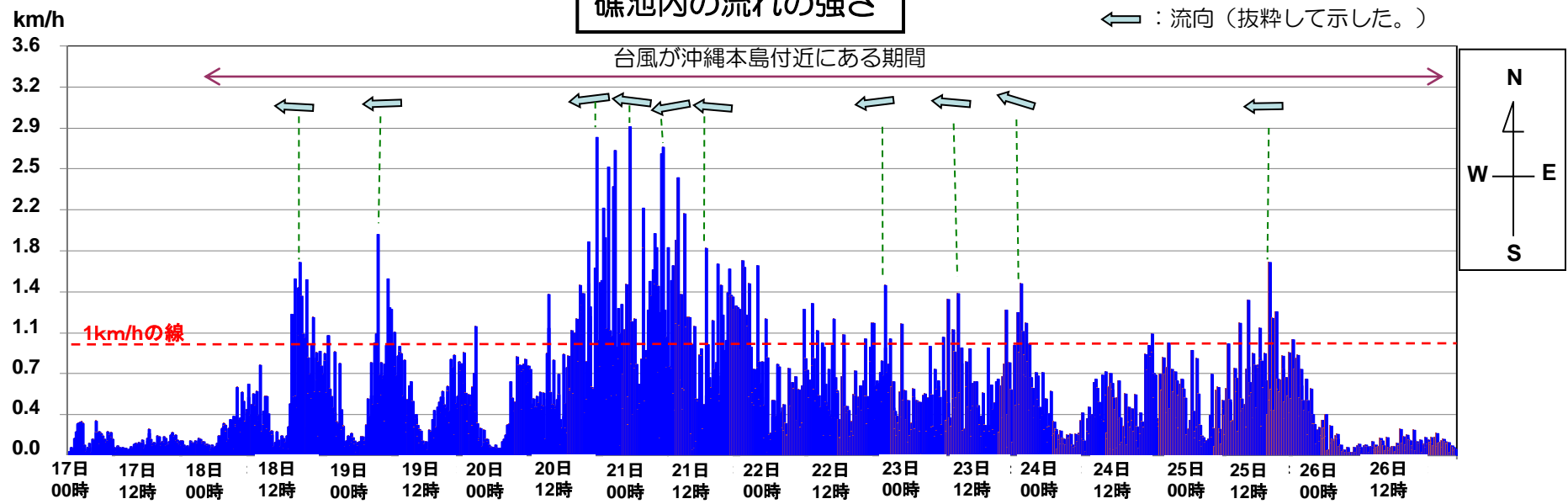
詳細な観測結果については、十一管区海上保安本部ホームページ上（下記参照）にて公表しています。

○インターネットアドレスは、<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN11/hokoku/tyoryu/tyouryupage.htm>

【礁池（イノー）内の強い流れについて】



礁池内の流れの強さ



※●点での10月17日0時0分から26日23時50分までの10分毎の流れについて、流速を棒グラフで、流向を矢符で示した図